

テーマ：『どうぶつのことを知ってなかよくなるう』

- 体全体を使って自然や動物の素晴らしさを体験し、知的好奇心を高める活動
- 生き物を観察、飼育するためのファーストステップとして、動物との接し方を学ぶ
- 見つける、比べる、表現する、伝え合うことを通じて、他者との情報交流をおこなう

学習の展開

- 動物となかよくなるためには？ 【解説①】
 - ・児童自身で考える（予想する）
- 飼育員が動物たちとなかよくなるためにしていること 【解説②】
 - ・動物たちのことをよく知ることが大事
 - ・どのような動物か、食べものやすみか、好きなこと、苦手なことを知る
 - ・動物たちのことを知るために、目や耳をつかってしっかりと観察しよう
- 目でみて観察をする / 気持ちを想像する 【解説③】
 - ・何をしているか、どこにいるか、とくに動物の行動に注目する
 - ・動物たちがどんな気持ちか想像する、言葉にする
- 耳できいて観察をする
 - ・鳴き声や足音など、動物たちの音や動きに注目する
- 鼻でにおって観察をする
 - ・動物のにおい、エサやうんち、花や草のにおいなどをさがす
- 動物たちのことを考えてみる 【解説④】
 - ・動物たちのきもちを想像しながら、声のかけ方を考える
(やさしく声をかける、ゆっくり動く、自分がされて嫌なことはしないなど)

解説 ① 動物となかよくなること

動物となかよくなるためには、どうすればいいだろうか？児童に問いかけて、動物となかよくなるためにはどうすればいいか考えます。

解説 ② 飼育員が動物たちとなかよくなるためにしていること

動物のお世話をしている人を飼育員といいます。飼育員の仕事は、動物たちの食べ物を用意したり、お部屋のお掃除をしたり、動物たちが遊ぶところを作ったり、動物たちが気持ちよく元気に暮らせるようにすることです。

動物たちは好きなことや嫌いなことを人間の言葉で教えてくれません。そのかわりに、顔や体、声で教えてくれます。飼育員は、目でよく見て、耳でよく聞いて、動物たちをしっかりと観察しています。

解説 ③ 目で見る / 耳で聞く / 鼻でにおう

動物たちの様子を、目、耳、鼻を使って観察します。

目で観察は、「あそんでいる」「たべている」「はしっている」動物を見つけて、記入します。そのほかにも、それぞれが気が付いたことを記入して動物の行動に注目します。

耳で観察は、音に注目して動物の鳴き声などをさがします。鳴き声だけではなく、足音や水を飲む音、葉っぱを食べる音など様々な音があります。

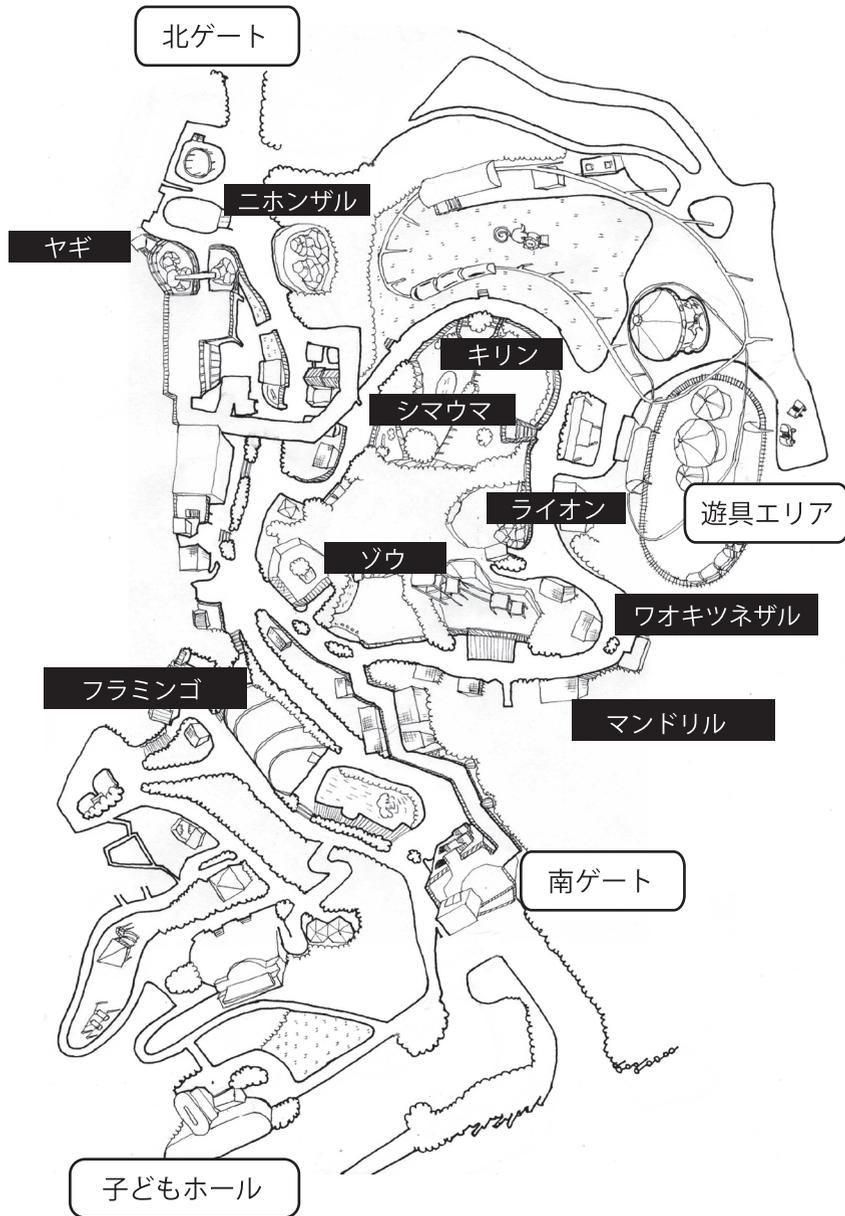
鼻で観察は、動物のにおいだけではなく、エサのにおいや花や草のにおいをさがしてみましょう。

解説 ④ 動物たちのことを考えてみる

動物たちに出会ったとき、どのように声をかけるといいか問いかけます。動物たちが好きなこと、喜ぶこと、苦手なこと、怖がることを考えましょう。

動物たちに出会ったとき、やさしくゆっくりと声をかけることが望ましいです。オウムだけではなく多くの動物たちにとって、音は大事な情報源です。急な動きや大きな音で動物が驚いてケガをすることもあります。

おすすめ動物マップ



目、耳、鼻をつかって、発見！



なにがいるかな？
どこにいるかな？
なにをしているかな？
なに色かな？ など



どんな音がするかな？
なにの音かな？
どこから聞こえてくるかな？ など



どんなにおいがするかな？
なにのにおいかな？ など

動物にかぎらず、エサのにおいや植物のにおいなどを探してみてください

気づいたこと、気になったことを言葉にできるよう、
問いかけをして観察していきましょう

☆いとうづのもりこうえんで はっけんしたよ



みる

めでみてはっけんしたこと
 どうぶつたちは なにを していたかな

みつけたことに
 ○をつけよう

どうぶつの なまえ

あそぶ

たべる

はしる

ほかには どんなことを みつけたかな



きく

みみをつかって さがした おと
 どんな おとが きこえたかな



きこえた おと





におう

はなをつかって さがした におい
 どんな においが したかな

はっけんした においに ○をつけよう

いい におい

くさい におい

ふしぎな におい

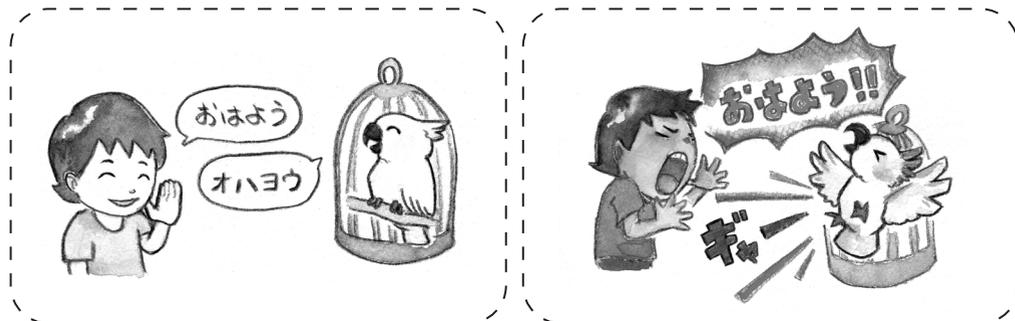
すきな におい



かんがえる

どうぶつの きもちを
かんがえてみよう

どっちが なかよしかな ○をつけよう



どうぶつたちが すきなこと よろこぶことは なにかな
いとうづのもりこうえん で はっけんして
どうぶつたちと なかよくなるうね

